

令和3年度第1回久留米市在宅医療・介護連携推進協議会
書面会議報告書

■書面会議開催日：令和3年11月17日から12月9日

[議事]

(1) 入退院調整ルール運用に係る取組状況について

<意見>

- ・コロナ禍においてICTの更なる利活用が望まれている状況ですが、デリケートな個人情報を取り扱うため、セキュリティの問題もあり現時点ではこのまま地道に普及・浸透を進めていくのが良いと考えます(池田委員)。
- ・取組みはいい結果が出ていると思います(岡委員)。
- ・保険証カバーにケアマネジャーの名刺が入っている状況が多くなり、入院・退院時ケアマネジャーからの情報提供も増えている。継続の取組みは必要と思います(富安委員)。
- ・少しずつではありますが、入院時の連携は取れている。コロナの関係か退院時の連携不足は感じています。状態が見えないままのサービス開始になることがあります。ケアマネとしての不安は大きいです(西田委員)。
- ・入退院調整ルールの普及により訪問介護への連絡も徐々に増えています。以前は今日退院したから明日サービスを再開してくれ等の依頼が多くありました。現在は、1週間程度時間がある事が多い様です(南島委員)。
- ・継続して調査する事で意識付けにもつながると思われれます。数値もいい方向で推移しているので取組みが連携のためにもっと活用されて欲しい(土師委員)
- ・取組み成果が出ていてよい(中根委員)。

<質問1>

・退院前カンファレンス時に行う決定項目がありますか。現在は、退院後の医師(訪問診療医)、訪問看護は決めておられますが、歯科医・薬剤師の連携を深めてもらいたい(牟田委員)。

(回答1)

・入退院調整ルールの中で退院支援情報連携シート等の様式は定めていますが、退院前カンファレンスは対象の状態に応じて個別に必要な項目の検討・決定がなされている状況かと思えます。また、当ルールでは、医療機関とケアマネジャーとの連携推進が主な目的になっていますが、他職種間の連携に係る取組みも別途推進できたらと考えております。

<質問2>

・コロナウイルス感染症の収束が見えない中、動画を利用した状態の把握は非常に有効かと思えますが、どれくらいの施設で実施されていたのでしょうか。スマホで出来そうなので広める事は簡単だと思います(松隈委員)。

(回答2)

・入退院連携状況調査中のケアマネジャー調査では4施設、病院調査では3施設の方から動画を活用した取組みについて自由記載欄の中で回答がありました。

<質問3>

・今後さらに発展する計画はありますか。急性期など初回入院時は情報共有がスムーズになりましたが、転院や入所（短期入所）になる場合の情報のつなぎ方はどうしていく方向でしょうか。せっかくケアマネジャーがまとめてくれた情報をつないでいくことはできないのか（中根委員）。

(回答3)

・入退院調整ルール の運用状況の確認・評価を引き続き行い、部会等の中でも検討しながら必要に応じて見直し等ができたかと考えております。また、当ルールの中で転院等の場合、病院は担当ケアマネジャーの事業所名等を次の病院へ引き継ぎ、ケアマネジャーにも転院した事を連絡して頂くようになっております。また、ケアマネジャーは転院先の病院と連絡、必要時、入院時情報提供書を提供するようになっております。

(2) 人生の最終段階における医療・ケアの普及・啓発のあり方について

<意見>

・コロナ禍での困難事例、うまくいった事例を引き続き集めて頂けると参考になります(西岡委員)。
・「私の生き方ノート」のPDFを各医療機関・介護施設にメールに添付して配布し、確認・活用を促すのはどうでしょうか(池田委員)。
・コロナ禍の中、対面で出来ない分大変だと思いますが、Web等の取組み予定でいいと思います(岡委員)。
・普及啓発は実施されているが、コロナ対策でライブ配信での実施と現地開催両方で情報提供を行う方法は良い取組みだと思いますので続けて欲しい(富安委員)。
・本人の意見にはまだ迷いがみられます。説明や市民への研修は必要と感じます。(西田委員)
・実施後の評価が重要になってくると思うので評価でしっかり振り返り良かった点はもっとよくする為に、悪かった点は改善し臨んでいくことでよりよい普及啓発につながると思います(土師委員)。

<質問1>

・人材育成のWeb研修(本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会)はマイクやカメラ、PCなど設備の準備が必要ですが条件を満たすグループは見込めるのでしょうか(吉永委員)。

(回答1)

・今年度は同じ内容の研修を2回予定しており、令和3年9月19日に実施した第1回目の研修会では定員8施設(計32名)の参加がありました。
第2回目の研修も現時点で定員に近い参加申込みを頂いております。今後、多くの方が参加しやすいよう実施方法について検討したいと考えております。

(3) 在宅医療・介護連携センターの取組状況について

<意見>

・医療と看護の連携は今から始まります。よろしくお祈りします。(西田委員)
・新型コロナウイルス感染拡大に伴い様々な企画に制約がかかり大変であったと思います。その中で対策を行いながら事業運営ありがとうございました(土師委員)。

(4) その他

・今後は全体的な協議会を行いたいです(牟田委員)。
・医療と介護の連携は大切な問題です。大切にしていきたいです(西田委員)。